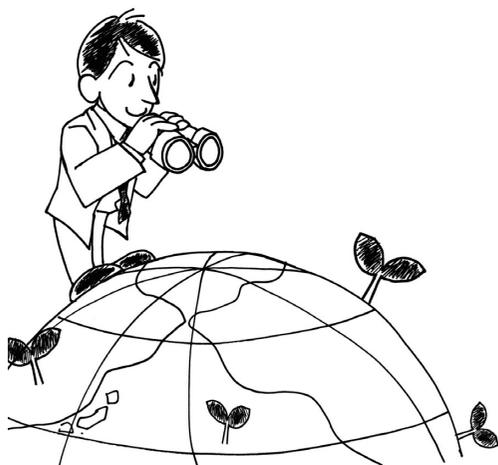


# セゾン・バンガード・ グローバルバランスファンド

追加型投信/内外/資産複合



## 交付運用報告書

第10期（決算日 2016年12月12日）

（作成対象期間 2015年12月11日～2016年12月12日）

第10期末(2016年12月12日)	
基準価額	13,181円
純資産総額	126,394百万円
第10期	
騰落率	△1.7%
分配金(税込)合計	-円

- ・騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。
- ・純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧・ダウンロードいただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンドの紹介」⇒「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」⇒「運用状況・レポート」⇒「運用報告書」

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、右記お問い合わせ先までお問い合わせください。

### 受益者の皆さまへ

平素は「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

当ファンドは2016年12月12日に第10期決算を行ないましたので、当期の運用状況をまとめております。

当期間も信託財産の長期的な成長を図ることを目的とした運用を、変わらずに行って参りましたこと合わせてご報告申し上げます。

今後も、皆さまの長期投資の充実のため、引き続き努めて参りますので、より一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



## セゾン投信

### ■お問い合わせ先

セゾン投信株式会社 お客様窓口  
〒170-6037 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 37F  
【ホームページ】 <http://www.saison-am.co.jp>  
【電話番号】 03-3988-8668  
【営業時間】 9:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）

## ごあいさつ

当ファンドの第10期は、前半世界の金融市場がリスクオフのトレンドを深耕させる中、急激な円高を伴ったことから、基準価額が大きく調整を余儀なくされ、しばしボックス圏の旅が続きましたが、11月の米大統領選挙以降、期末まで急速なリスクオンと円高局面の修正に拠って、期中を通じての運用成績はほぼ期初の水準を回復する、いわゆる「行って来い」の1年でありました。

期中の外部環境は、英EU離脱に米大統領選のトランプ氏勝利と、マーケットが織り込んでいた結果とは逆の「想定外」な事象が繰り返され、稀に見るマーケットの短期的な上下動が発生する、不安定な価格水準の度重なる修正があった一方、世界の实体经济はそれら政治的イベントに実質的には影響されることなく、若干ペースは鈍りながらも巡行速度内な安定した成長軌道を堅持していると認識しています。

グローバリゼーション構造が展開されてから四半世紀を経て、世界は着実に成長の果実を享受する地域を拡大し続けて来ていますが、そうした富の均質化(フラットニング)の進展は、とりわけ先進国社会においてグローバリゼーションの変化への適応力の差として優勝劣敗が顕在化して、「格差」拡大というカタチで政治的ポピュリズムの台頭を起こしています。

そうした政治的混乱は、2017年もグローバルな不確実性として日々のマーケットを変動させる要因となりそうですが、地球経済が一体として穏やかに成長を積み上げて行くグローバリゼーション構造に参加し、その果実を求める地域と人々は着実に拡大を続けています。

そしてインターネット・情報技術の進化が、AI・クラウド・IoTといった新たな産業間のイノベーションをもたらして、世界経済はより豊かで便利な社会を目指して、間違いなく成長の果実を育んでいるのです。この新産業革命を主導する米国経済が、最も安定した景気拡大のトレンドをより堅固にする中で、地球経済はトータルとしてその恩恵を享受して、2017年も相応の安定した成長軌道を維持して行くはずです。

当ファンドはそうしたグローバリゼーションの新たなメガトレンドに自然体に乗って、その成長からゆったりとお金を育てて行く為の長距離列車です。お蔭様で当期中に当該純資産残高は192億円増加して1264億円と、日本を代表する長期国際分散投資ファンドに成長して参りました。

「セゾン号」乗客の皆さまには、長期投資の旅を続けていただいていることに乗務員一同感謝申し上げますと共に、第10期の運用状況を報告させていただきます。

代表取締役社長 中野 晴啓

## 運用担当者の紹介

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンドは、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを活用して、世界の優れたリソースを活用しながら、日本の生活者の方の長期の資産形成に資することができるよう、不確実な市場の予想に頼ることなく、長期的なリターンと幅広い分散によるリスクの軽減を重視して、4人のチームで運用を行っています。

代表取締役社長、CIO(チーフインベストメントオフィサー)

### 中野 晴啓



#### 主な役割

運用の基本的な方向性の指示

運用経験年数 26年

#### 経歴

1987年	明治大学商学部卒業
1987年	株式会社クレディセゾン入社。セゾングループの金融子会社にて債券ポートフォリオを中心に資金運用業務に従事した後、投資顧問事業を立ち上げ運用責任者としてグループ資金の運用のほか外国籍投資信託をはじめとした海外契約資産等の運用アドバイスを手がける。その後、2006年セゾン投信を設立。2007年4月から現職。

運用部アナリスト

### 奥山 勉



#### 主な役割

マクロ経済環境の調査、ファンドのリスク分析

運用経験年数 11年

#### 経歴

1987年	早稲田大学政治経済学部経済学科卒業
1987年	株式会社クレディセゾン入社。クレディセゾン及びセゾングループでの投資業務等に従事した後、2011年からセゾン投信にて現職。  公益社団法人日本証券アナリスト協会検定会員 中央大学大学院国際会計研究科修了(ファイナンス)

運用部長、ポートフォリオマネジャー

### 瀬下 哲雄



#### 主な役割

運用方針の決定、資産配分比率の決定、キャッシュフローの管理

運用経験年数 10年

#### 経歴

1996年	上智大学経済学部経営学科卒業
2006年	セゾン投信入社、2007年3月のファンド設定時より運用を担当し、2011年よりポートフォリオマネジャー、2014年から現職。

運用部アナリスト

### 佺能 浩



#### 主な役割

新規組入れファンドの調査、国際政治情勢分析

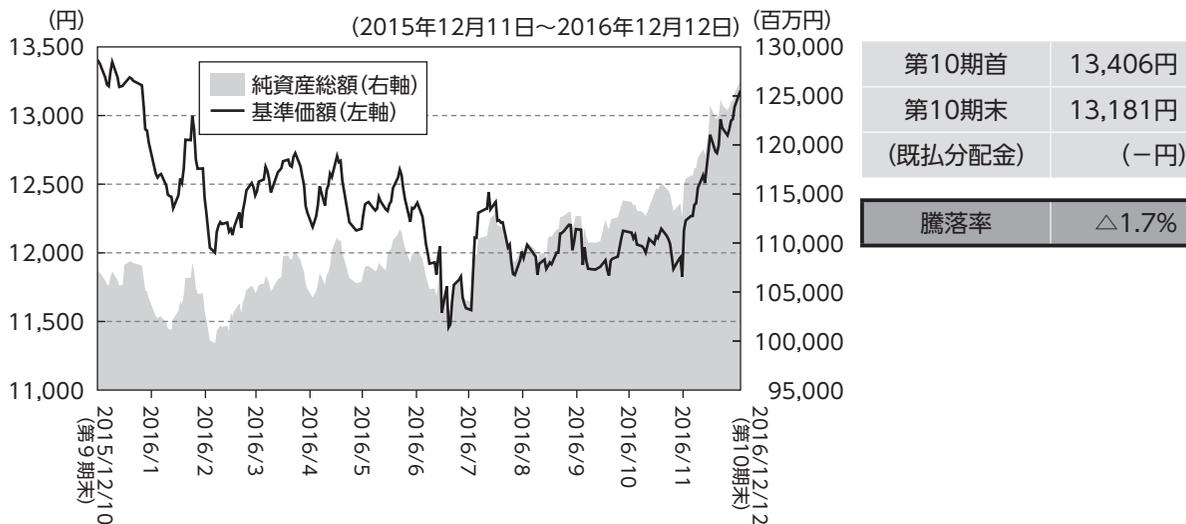
運用経験年数 7年

#### 経歴

2002年	慶應義塾大学法学部政治学科卒業
2009年	独立系資産運用会社においてバックオフィス関連業務や運用業務等に従事した後、2015年セゾン投信入社。2016年から現職。

## 運用経過の説明

## 期中の基準価額等の推移



- ・当ファンドには、ベンチマークはありません。
- ・分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は表示しておりません。
- ・表示されている基準価額が、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものとなります。
- ・上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。



## ここをCHECK!

## 【基準価額の主な変動要因】

当期は、株式に投資するファンドが日本に投資するものを除いて上昇して基準価額の上昇要因となり、債券に投資するファンドが全て上昇して基準価額の上昇要因となりました。為替は対ドル、対ユーロで円高となり基準価額の下落要因となりました。

## &lt; 基準価額のプラス要因 &gt;

バンガード®・U.S.500ストック・インデックス・ファンド (米ドル)
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド (米ドル)
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (円)
バンガード・パシフィック・エクス・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド (米ドル)
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (ユーロ)
バンガード・U.S.ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (米ドル)
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド (ユーロ)

期中騰落率  
△1.7%

バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド (円)

対ドルでの為替レート (円高)

対ユーロでの為替レート (円高)

## &lt; 基準価額のマイナス要因 &gt;

## 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015年12月11日~2016年12月12日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社)  (受託会社)	63円 (35) (23)  (5)	0.511% (0.284) (0.186)  (0.041)	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用  (監査費用)  (その他)	0  (0)  (0)	0.001  (0.001)  (0.000)	(b) その他費用= $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用
合 計	63	0.512	
期中の平均基準価額は12,332円です。			

- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・財産維持手数料は当期は発生しておりません。
- ・各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに少数点以下第4位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。



## ここをCHECK!

&lt;参考情報&gt;

このファンドが組み入れている投資信託証券の運用管理費は?

“運用管理費”の期中平均比率は以下の通りとなりました。

このファンドが組み入れている投資信託証券の運用管理費率(年率)	0.180%
---------------------------------	--------

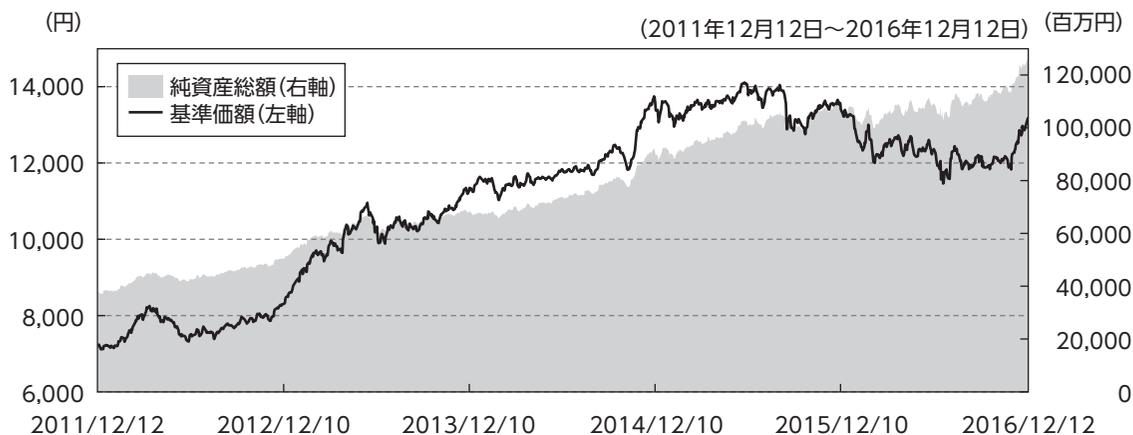
- ・投資している投資信託証券は個別の費用明細を開示していないものがあるため、費用総額を計算したものは記載することはできません。そのため、上記の比率は運用管理費率の概算であり、全ての費用が含まれた比率ではありません。
- ・投資している各投資信託証券の運用管理費率を組入比率で加重平均した、委託会社が計算した数値です。

実質的な費用負担の比率は?

投資家の皆さまの実質的な費用負担比率(年率)	0.692%
------------------------	--------

- ・当ファンドの1万口当たりの費用合計の比率と、このファンドが組み入れている投資信託証券の運用管理費率(概算)を合計したものです。
- ・当期の運用実績は、全ての費用を差し引いた後のものとなっております。

## 最近5年間の基準価額等の推移



	2011年12月12日 決算日	2012年12月10日 決算日	2013年12月10日 決算日	2014年12月10日 決算日	2015年12月10日 決算日	2016年12月12日 決算日
基準価額 (円)	7,226	8,309	11,347	13,561	13,406	13,181
期間分配金合計(税込) (円)	-	-	-	-	-	-
基準価額の騰落率 (%)	-	15.0	36.6	19.5	△1.1	△1.7
参考指数の騰落率 (%)	-	15.5	35.0	19.2	△0.4	0.4
純資産総額 (百万円)	37,748	50,743	68,517	90,887	107,188	126,394

- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)とブルームバーグ・パークレイズ・グローバル国債：G7インデックスを50%ずつ組み合わせた、委託会社が計算した合成指数を参考指数として記載しております。
- ・参考指数は、基準価額の反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しております。
- ・騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- ・純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。



## ここをCHECK!

&lt;参考情報&gt;

当期末(2016年12月12日)と5年前(2011年12月12日)の比較は以下の通りです。

基準価額の騰落率(5年)	82.4%
参考指数の騰落率(5年)	85.9%
純資産総額の増加額(5年)	88,646百万円

・騰落率は年率換算しておりません。

## 投資環境

### 【株式市場の概況】

2016年の初頭から中国経済の先行きに対する懸念が拡がり大きく下落したものの、その後は先進国で金融緩和の長期化観測が高まって、落ち着きを取り戻して反発に転じました。6月にはイギリスで行われた国民投票で欧州連合(EU)からの離脱が選択され、先行きへの不透明感が拡がったものの、先進国で金融緩和の長期化観測が一段と高まったことを受けて落ち着いた展開が継続しました。11月に行われた米国の大統領選挙では大方の予想を覆してトランプ候補が勝利した後、トランプ次期政権が打ち出す経済政策への期待が高まって、上昇しました。

地域別では、米国は利上げ観測が後退したことから比較的堅調な展開となり、終盤にはトランプ次期政権への期待が高まって上昇しました。欧州は経済統合の動きが後退し、先行きへの不透明感が根強いものの、金融緩和策に下支えされて、底堅い展開となりました。日本は途中まで為替市場で円高となったことから軟調な推移となりましたが、終盤に円安に転じて反発しました。太平洋地域や新興国は、景気の先行きに対する悲観的な見方が和らいだほか、先進国で金融緩和の長期化観測が高まったことを背景に資金流出への懸念が和らぎ、比較的堅調な動きとなりました。

セクター別では、資源価格の上昇を受けてエネルギー、素材セクターが大きく上昇したほか、米国の大統領選挙後に規制緩和への期待が高まったことを受けて金融セクターが大きく上昇した一方で、薬価の高騰による公的負担拡大への懸念が高まったことを受けてヘルスケアセクターが下落しました。

### 【国債市場の概況】

2015年12月に米国で利上げが行われたものの、2016年に入ってから、中国経済の先行きに対する懸念が高まるなかで、米国の利上げペースが緩やかなものになるとの見方が拡がったほか、日本やユーロ圏で追加の金融緩和策が打ち出されたことから、堅調な展開となりました。6月にはイギリスで行われた国民投票で欧州連合(EU)からの離脱が選択され、先行きに対する不透明感が高まったことで、金融緩和の長期化観測が一段と高まって上昇し、その後も世界的な成長力の鈍化懸念や物価の伸びの低迷を背景に堅調な展開が継続しました。しかし、11月に行われた米国の大統領選挙で大方の予想を覆してトランプ候補が勝利すると、米国で財政支出の拡大と減税が行われて財政赤字が拡大すると共に物価が上昇すると見方が拡がって下落しました。

米国債は、途中まで景気の先行きに対する明るい見方が拡がらず、利上げ観測が後退したことを受けて上昇しましたが、大統領選挙後に財政赤字の拡大観測や物価上昇観測が高まり反落に転じました。ユーロ圏の国債は金融緩和の長期化観測を背景に途中まで堅調な展開となったものの、終盤には米国債が下落した余波を受けて下落しました。日本国債は日本銀行が1月にマイナス金利の導入を含む金融緩和策を打ち出して大きく上昇したものの、その後は金融緩和策の限界が意識されて力強さを欠く動きとなりました。

### 【為替市場の概況】

先行きに対する不透明感が高まったことを背景に米国の利上げ観測が後退したことを受けてドルは途中まで軟調な展開となりましたが、11月の大統領選挙後は景気の先行きに対する明るい見方が拡がると共に、利上げ観測が高まり反発に転じました。ユーロは政治的な混迷への懸念や景気の先行きに対する不透明感が高まるなかで、金融緩和の長期化観測が高まっていることから力強さを欠く展開となりました。円は、日本銀行の緩和策の限界が意識されると共に物価上昇観測が後退して、途中まで上昇基調となりましたが、米国の大統領選挙後は、リスク選好が強まるなかで米国や欧州との金利差が拡大して反落に転じました。

上記以外の通貨では、英ポンドが6月に行われた国民投票で欧州連合(EU)からの離脱が選択され、先行きへの不透明感が拡がったことを受けて大きく下落した一方で、ブラジルレアルや南アフリカランドなどの資源国通貨が上昇しました。

## 当ファンドの運用経過と結果

当期も引き続き、積立やスポット購入により受益者の皆様からお預かりした資金を利用して定められた投資比率に従って各ファンドへの投資を行い、株式と債券の比率が乖離した局面では、比率の高まったファンドを売却し、比率の低下したファンドを購入することにより、リバランスを行いました。

当期は、株式市場が軟調な展開となった6月までは株式ファンドを中心に投資を行い、その後は株式市場が上昇基調となるなかで、債券ファンドを中心に投資を行いました。なお、債券ファンドの比率が大きく上昇した1月と6月、及び株式ファンドの比率が大きく上昇した12月には比率が上昇したファンドを売却し、比率が低下したファンドを購入することにより、リバランスを行いました。



### ここをCHECK!

<参考情報>

期中の売買及び取引の状況（2015年12月11日から2016年12月12日まで）

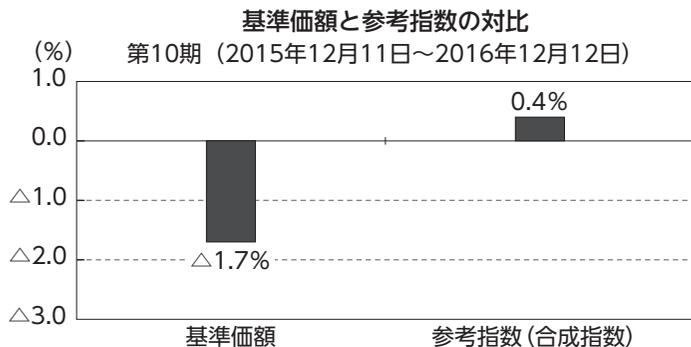
投資証券		買付 金額	売付 金額
外 国 アイ ル ラ ン ド	バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	千円 646,300	千円 -
	バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	1,863,700	1,047,678
	バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド	千米ドル 46,296	千米ドル 8,189
	バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	3,371	243
	バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	12,150	-
	バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	56,490	3,189
	バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	千ユーロ 20,569	千ユーロ 1,068
	バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	29,641	1,190

・金額は受渡し代金です。

・千単位未満は切捨てて表示しております。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の当期の騰落率の対比です。



- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオールカントリー・ワールド・インデックス (配当込) とブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：G7インデックスを50%ずつ組合せた、委託会社が計算した合成指数を参考指数として記載しております。
- ・参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しております。

## 分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第10期
	2015年12月11日～2016年12月12日
当期分配金	-
(対基準価額比率)	-
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	4,962

- ・対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

---

---

定められた投資比率に従い各ファンドへの投資を行います。原則として新規の流入資金を利用して、定められた投資比率に沿うように分散投資を行い、目標とする比率から一定の乖離が生じた場合はファンドの売却と購入による比率の調整を行います。

運用部長 瀬下 哲雄

## お知らせ

---

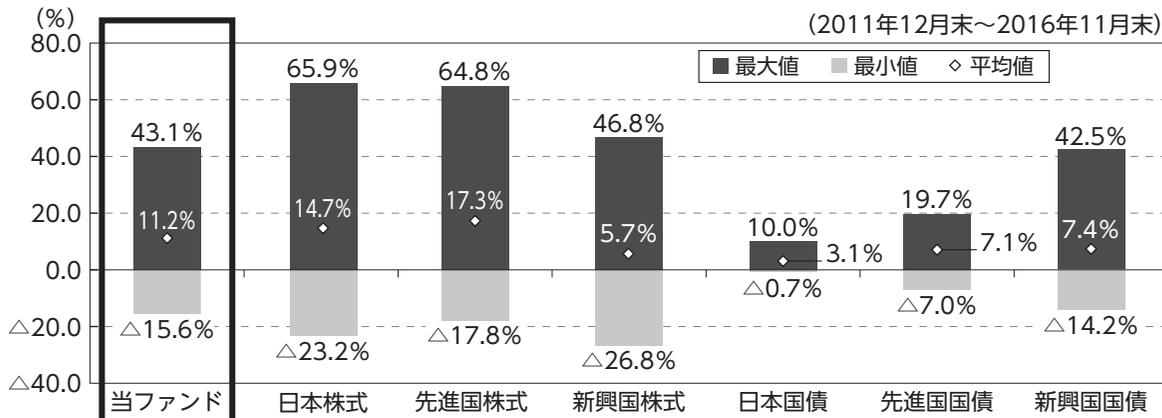
---

該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	<p>信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、主として米国バンガード社が運用するインデックスファンドの中から資産規模、運用実績、コストなどの面から厳選したファンドに分散投資します。具体的な資産配分は運用状況ならびに市場状況に応じて随時変更(増減ならびに入替など)します。</p> <p>原則として、為替ヘッジは行いません。</p>
主 要 投 資 対 象	有価証券に投資する外国投資証券を投資対象とします。
運 用 方 法	<p>当ファンドの運用は、ファンド・オブ・ファンズ方式とし、米国バンガード社が設定したインデックス型の外国投資証券への投資を通じて、世界各国の株式および債券に実質的に分散投資します。</p> <p>株式と債券の基本資産配分比率は、原則として株式50%、債券50%とします。</p> <p>株式、債券の地域別配分比率は、それぞれの市場時価総額を勘案して行います。</p>
分 配 方 針	<p>毎決算時に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。</p> <p>信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。</p> <p>当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、税金を差し引いた後、再投資されます。</p>

## (参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・2011年12月から2016年11月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- ・上記の騰落率は、直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり決算日に対応した数字とは異なります。

## 《各資産クラスの指数》

日本株式：MSCI ジャパン・インデックス(配当込)  
 先進国株式：MSCI ワールド・インデックス(配当込)  
 新興国株式：MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込)  
 日本国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：日本インデックス  
 先進国国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：G7インデックス  
 新興国国債：ブルームバーグ・バークレイズ新興市場自国通貨建て国債インデックス

- ・全ての指数は米ドル建てのものをわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しております。

- ・MSCIジャパン・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、日本の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIワールド・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の先進国および新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

## 当ファンドのデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

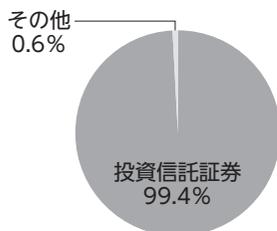
(2016年12月12日現在)

## ■組入ファンド

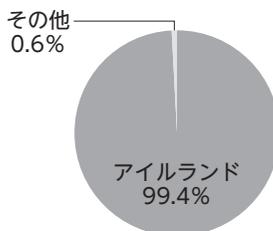
	第10期末(2016年12月12日)
	組入比率
バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド	28.3%
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	23.9%
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	17.3%
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	10.9%
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	7.1%
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	5.6%
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	4.1%
バンガード・パシフィック・エクス・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	2.1%
その他(短期金融資産等)	0.6%
組入ファンド数	8銘柄

- ・組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
- ・詳細は、運用報告書(全体版)に記載しております。
- ・小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

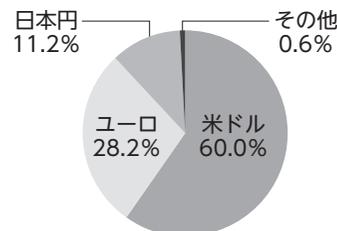
## ■資産別配分



## ■国別配分



## ■通貨別配分



- ・国別配分は、投資しているファンドの発行国を表示しております。



## ここをCHECK!

## 投資対象別に分類した組入資産の状況

## ■資産別配分

投資対象	組入比率	ファンド数
株式を中心に投資するファンド	51.0%	5銘柄
債券を中心に投資するファンド	48.3%	3銘柄
その他(短期金融資産等)	0.6%	—
合計	100.0%	8銘柄

## ■地域別配分

投資対象	組入比率	ファンド数
米国を中心に投資するファンド	52.2%	2銘柄
欧州を中心に投資するファンド	28.2%	2銘柄
日本を中心に投資するファンド	11.2%	2銘柄
太平洋(日本を除く)を中心に投資するファンド	2.1%	1銘柄
新興国を中心に投資するファンド	5.6%	1銘柄
その他(短期金融資産等)	0.6%	—
合計	100.0%	8銘柄

- ・詳細は、「組入ファンドの概要」をご参照ください。
- ・小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

## 純資産等

項 目	第10期末
	2016年12月12日
純 資 産 総 額	126,394,783,321円
受 益 権 総 口 数	95,890,162,583口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	13,181円

・期中における追加設定元本額は21,696,257,309円、同解約元本額は5,763,757,513円です。

**ここをCHECK!**

純資産等の前期末の状況は以下の通りです。

項 目	第9期末
	2015年12月10日
純 資 産 総 額	107,188,829,038
受 益 権 総 口 数	79,957,662,787
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	13,406

・期中における金額ベースの追加設定額は26,808,821,701円、同一部解約額は7,112,513,965円です。結果、当期は差し引き19,696,307,736円の資金流入となりました。

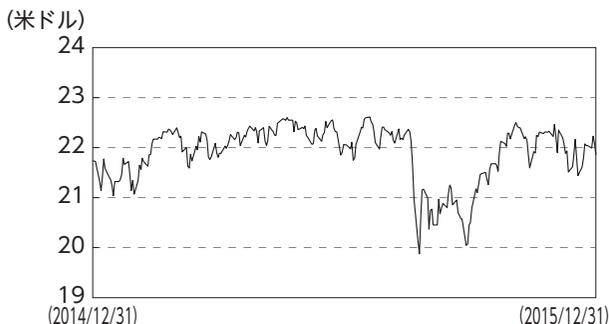
## 組入ファンドの概要

以下は当ファンドが投資対象としているバンガード社のファンドの現況です。詳細な内容につきましては運用報告書(全体版)に記載しております。

なお、以下の各項目の注記につきましては、20頁をご参照ください。

### 1. バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド

#### ■基準価額の推移



#### ■費用明細

(2015年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.10

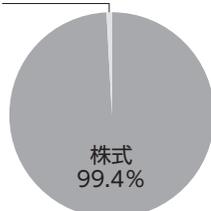
#### ■組入上位10銘柄

(2015年12月31日現在)

	銘柄名称	業種	投資比率(%)
1	Apple Inc.	情報技術	3.3
2	Alphabet Inc.	情報技術	2.5
3	Microsoft Corp.	情報技術	2.5
4	Exxon Mobil Corp.	エネルギー	1.8
5	General Electric Co.	資本財・サービス	1.6
6	Johnson & Johnson	ヘルスケア	1.6
7	Amazon.com Inc.	一般消費財・サービス	1.4
8	Wells Fargo & Co.	金融	1.4
9	Berkshire Hathaway Inc.	金融	1.4
10	JPMorgan Chase & Co.	金融	1.3
組入銘柄数		504銘柄	

#### ■資産別配分

その他  
0.6%



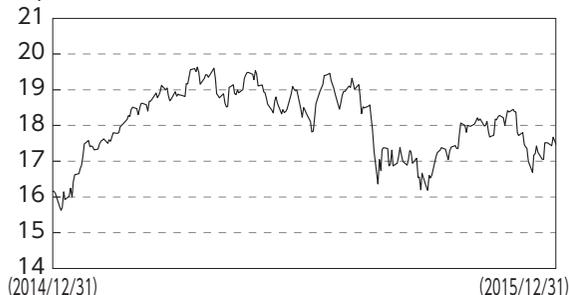
#### ■国・地域別配分



## 2. バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移

(ユーロ)



## ■費用明細

(2015年12月31日現在)

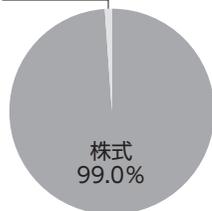
ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.30

## ■組入上位10銘柄

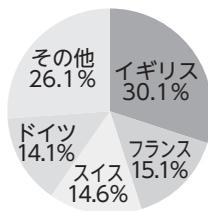
(2015年12月31日現在)

	銘柄名称	国/地域	業種	投資比率(%)
1	Nestle SA	スイス	生活必需品	3.0
2	Novartis AG	スイス	ヘルスケア	2.5
3	Roche Holding AG	スイス	ヘルスケア	2.4
4	HSBC Holdings plc	イギリス	金融	1.9
5	Royal Dutch Shell plc	オランダ	エネルギー	1.8
6	Unilever	オランダ	生活必需品	1.6
7	Novo Nordisk A/S	デンマーク	ヘルスケア	1.4
8	Bayer AG	ドイツ	ヘルスケア	1.3
9	British American Tobacco plc	イギリス	生活必需品	1.3
10	Sanofi	フランス	ヘルスケア	1.3
組入銘柄数			456銘柄	

## ■資産別配分

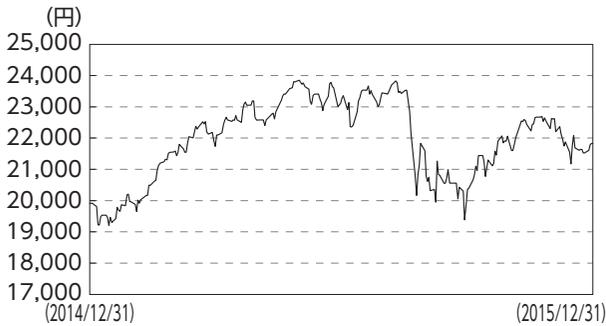
その他  
1.0%

## ■国・地域別配分



## 3. バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■費用明細

(2015年12月31日現在)

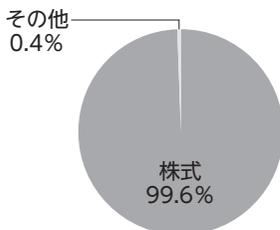
ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.23

## ■組入上位10銘柄

(2015年12月31日現在)

	銘柄名称	業 種	投資比率 (%)
1	トヨタ自動車(株)	一般消費財・サービス	5.9
2	(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ	金融	2.8
3	本田技研工業(株)	一般消費財・サービス	1.8
4	ソフトバンク(株)	電気通信サービス	1.7
5	(株)三井住友フィナンシャルグループ	金融	1.7
6	(株)みずほフィナンシャルグループ	金融	1.6
7	KDDI(株)	電機通信サービス	1.6
8	日本たばこ産業(株)	生活必需品	1.4
9	武田薬品工業(株)	ヘルスケア	1.4
10	(株)セブン&アイ・ホールディングス	生活必需品	1.2
組入銘柄数		318銘柄	

## ■資産別配分

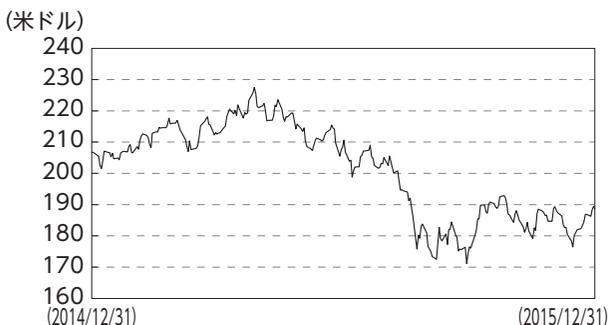


## ■国・地域別配分



## 4. バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■費用明細

(2015年12月31日現在)

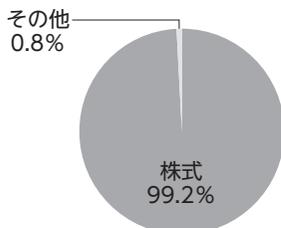
ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.23

## ■組入上位10銘柄

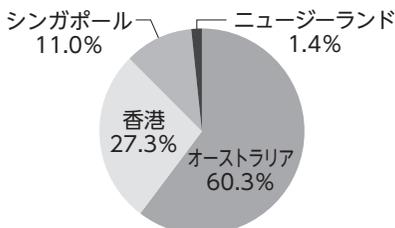
(2015年12月31日現在)

	銘柄名称	国/地域	業種	投資比率 (%)
1	Commonwealth Bank of Australia	オーストラリア	金融	7.5
2	Westpac Banking Corp.	オーストラリア	金融	5.7
3	AIA Group Ltd.	香港	金融	5.1
4	Australia & New Zealand Banking Group Ltd.	オーストラリア	金融	4.1
5	National Australia Bank Ltd.	オーストラリア	金融	4.1
6	BHP Billiton	オーストラリア	素材	3.0
7	CK Hutchison Holdings Ltd.	香港	資本財・サービス	2.6
8	CSL Ltd.	オーストラリア	ヘルスケア	2.5
9	Wesfarmers Ltd.	オーストラリア	生活必需品	2.4
10	Hong Kong Exchanges and Clearing Ltd.	香港	金融	2.1
組入銘柄数			151銘柄	

## ■資産別配分

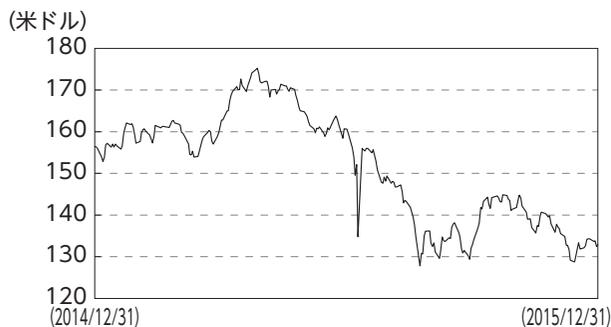


## ■国・地域別配分



## 5. バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■費用明細

(2015年12月31日現在)

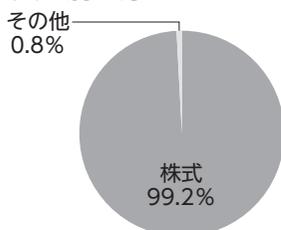
ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.27

## ■組入上位10銘柄

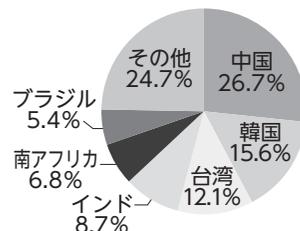
(2015年12月31日現在)

	銘柄名称	国/地域	業種	投資比率 (%)
1	Samsung Electronics Co. Ltd.	韓国	情報技術	4.0
2	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	台湾	情報技術	3.1
3	Tencent Holdings Ltd.	中国	情報技術	2.9
4	China Mobile Ltd.	中国	電気通信サービス	2.0
5	China Construction Bank Corp.	中国	金融	1.7
6	Naspers Ltd.	南アフリカ	一般消費財・サービス	1.6
7	Industrial & Commercial Bank of China Ltd.	中国	金融	1.3
8	Alibaba Group Holding Ltd.	中国	情報技術	1.2
9	Bank of China Ltd.	中国	金融	1.0
10	Hon Hai Precision Industry Co. Ltd.	台湾	情報技術	1.0
組入銘柄数		858銘柄		

## ■資産別配分

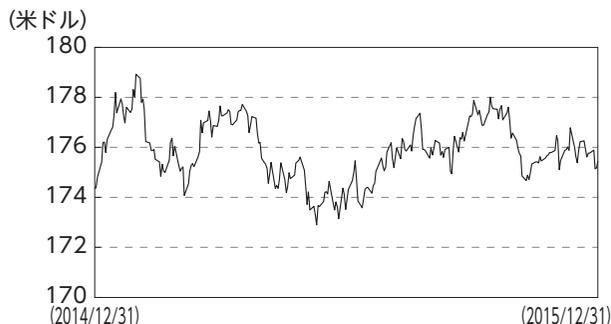


## ■国・地域別配分



## 6. バンガード・U.S.ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■費用明細

(2015年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.20

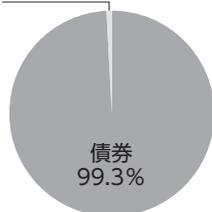
## ■組入上位10銘柄

(2015年12月31日現在)

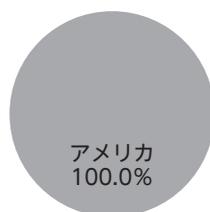
	銘柄名称	証券種別	利率(%)	償還年月日	投資比率(%)
1	US TREASURY N/B	国債証券	0.875	2018/1/15	1.86
2	US TREASURY N/B	国債証券	1.750	2022/3/31	1.78
3	US TREASURY N/B	国債証券	1.750	2023/5/15	1.75
4	US TREASURY N/B	国債証券	3.500	2020/5/15	1.67
5	US TREASURY N/B	国債証券	0.750	2018/4/15	1.50
6	US TREASURY N/B	国債証券	4.625	2017/2/15	1.42
7	US TREASURY N/B	国債証券	2.125	2025/5/15	1.31
8	US TREASURY N/B	国債証券	0.875	2017/6/15	1.30
9	US TREASURY N/B	国債証券	2.875	2043/5/15	1.28
10	US TREASURY N/B	国債証券	2.625	2020/11/15	1.20
組入銘柄数		318銘柄			

## ■資産別配分

その他  
0.7%

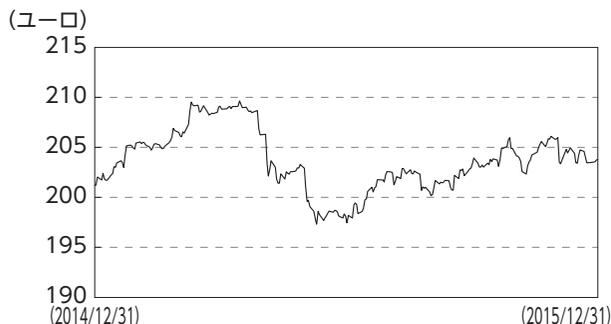


## ■国・地域別配分



## 7. バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■費用明細

(2015年12月31日現在)

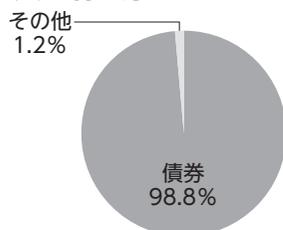
ファンド財産維持手数料率		運用管理费率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.20

## ■組入上位10銘柄

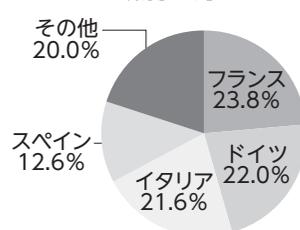
(2015年12月31日現在)

	銘柄名称	国/地域	証券種別	利率(%)	償還年月日	投資比率(%)
1	FEDERAL REPUBLIC OF GERMANY BOND	ドイツ	国債証券	0.250	2018/4/13	0.95
2	FRENCH REPUBLIC BOND	フランス	国債証券	3.500	2026/4/25	0.72
3	FRENCH REPUBLIC BOND	フランス	国債証券	2.750	2027/10/25	0.72
4	FRENCH REPUBLIC BOND	フランス	国債証券	4.750	2035/4/25	0.71
5	FRENCH REPUBLIC BOND	フランス	国債証券	3.250	2021/10/25	0.69
6	REPUBLIC OF ITALY BOND	イタリア	国債証券	6.000	2031/5/1	0.68
7	FRENCH REPUBLIC BOND	フランス	国債証券	3.750	2019/10/25	0.68
8	FRENCH REPUBLIC BOND	フランス	国債証券	5.750	2032/10/25	0.64
9	REPUBLIC OF ITALY BOND	イタリア	国債証券	5.000	2025/3/1	0.64
10	FRENCH REPUBLIC BOND	フランス	国債証券	2.250	2022/10/25	0.63
組入銘柄数			697銘柄			

## ■資産別配分

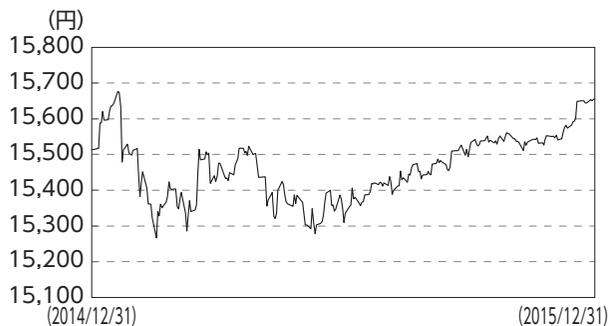


## ■国・地域別配分



## 8. バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■費用明細

(2015年12月31日現在)

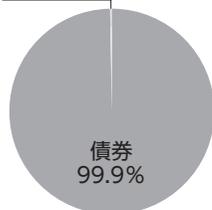
ファンド財産維持手数料率		運用管理费率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.20

## ■組入上位10銘柄

(2015年12月31日現在)

	銘柄名称	証券種別	利率(%)	償還年月日	投資比率(%)
1	第117回利付国債(5年)	国債証券	0.200	2019/3/20	2.00
2	第122回利付国債(5年)	国債証券	0.100	2019/12/20	1.78
3	第338回利付国債(10年)	国債証券	0.400	2025/3/20	1.67
4	第125回利付国債(5年)	国債証券	0.100	2020/9/20	1.54
5	第334回利付国債(10年)	国債証券	0.600	2024/6/20	1.49
6	第124回利付国債(5年)	国債証券	0.100	2020/6/20	1.44
7	第117回利付国債(20年)	国債証券	2.100	2030/3/20	1.33
8	第123回利付国債(5年)	国債証券	0.100	2020/3/20	1.28
9	第336回利付国債(10年)	国債証券	0.500	2024/12/20	1.27
10	第116回利付国債(5年)	国債証券	0.200	2018/12/20	1.26
組入銘柄数		370銘柄			

## ■資産別配分

その他  
0.1%

## ■国・地域別配分



- ・作成時点において、入手可能な各ファンドの直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。
- ・費用明細に記載されている運用管理費率とは、平均純資産総額に対する運用及び管理等にかかる費用の総額の割合を示したものです。
- ・組入上位10銘柄の投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率です。
- ・資産別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。
- ・通貨別配分については、開示されていないため記載しておりません。

[Vanguard] (日本語での「バンガード」を含む) 及び [tall ship logo] 商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。

また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd. より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。

従って、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd. は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

本書では、各投資対象ファンドを以下の通りに省略して記載することがありますのでご了承ください。

バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド	→ U.S.500ストック及びU.S.500ストック・インデックス・ファンド
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	→ ヨーロッパ・ストック及びヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	→ ジャパン・ストック及びジャパン・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	→ パシフィック・エクスジャパン・ファンド及びパシフィック・エクスジャパン・ストック・ファンド
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	→ エマージング・マーケット・ストック及びエマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→ U.S.・ガバメント・ボンド及びU.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→ ユーロ・ガバメント・ボンド及びユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→ ジャパン・ガバメント・ボンド及びジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

## TOPICS：《当社の直接販売の状況 第10期(2015年12月11日～2016年12月12日)》

## ○ 当期のふりかえり

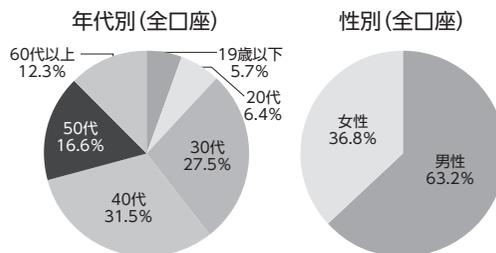
2016年 4月	ホームページをリニューアル
5月	お客さま口座数 11万口座
6月	会社設立10周年
10月	純資産総額1,500億円
11月	純資産総額1,600億円

## ○ 2016年12月12日現在 お客さま口座数 116,229件(前期比+14.1%増)

イギリス国民投票によるEU離脱の選択や米国の大統領選挙など政治的な要因も相まって、株式市場の変動が大きな期間となりましたが、お客さまはこの1年間で14,377名増加しました。口座の増加数は、前期間と比べ減少しておりますが、相場環境に不安定さが目立つ中、毎月1千件前後の口座開設を受付いたしました。(前期間末のお客さま口座数101,852件、口座増加数+25,169件)

## ○ お客さまの特徴

年代別は前期から大きな変化はなく「資産形成層」の30代～40代が59.0%と大きな割合を占めています。性別の構成は女性比率が前期から1.0%増えています。



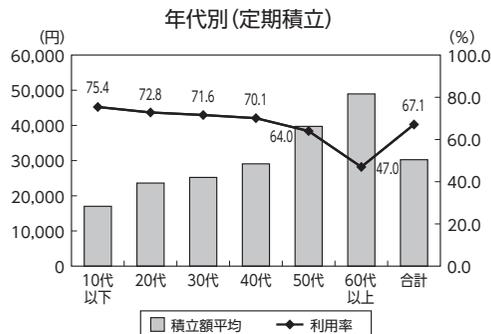
## ○ ファンドの設定・解約の状況(当社ファンドの合計)

当期間も、設定額が解約額を毎月上回り、純資金流入が継続しています。純資金流入額は271.6億円(金額ベース)で、前期の金額(266.5億円)を上回り、開業来最多額となりました。

## ○ 定期積立プラン

当サービスの利用率は67.1%となっております。前期に比べ口座開設数が減ったこともあり、利用率は若干減少(前期から△0.9%)しています。

・定期積立プランは、当社が運用、販売するファンド2種類のいずれか、もしくは両ファンド定期積立サービスをご利用いただいている方を対象としてデータを作成しています。また積立額平均、利用率は2016年12月時点の数値であり、積立額平均は増額月の増額分の金額を含まない平均値です。



相場環境によらず、安定して新しいお客さまが増えた1年となり、これも皆さまのおかげと深く感謝しております。

これからも皆さまからいただく評価を受け止め、共に長期で成長する会社であり続けるため、一つ一つのこだわりを大切にお客さまのために誠実なサービスの提供に努めてまいります。

- ・お客さまの特徴や口座、金額は、保有しているファンドの種類や有無に関係なく当社に口座を開設していただいているお客さまを集計したものととなります。
- ・金額は、明記されたものを除き当社が運用、販売するファンド2種類を合計した数値となっております。